

SINCE 1889



第5回

ヤマト科学賞募集

Yamato Scientific Award 2018

ヤマト科学は2014年の創立125周年を記念して、独創性、創造性に富む、気鋭の研究者を顕彰し、人類に夢と希望をもたらす科学技術の次世代リーダーとしての活躍を支援することを目的とした、ヤマト科学賞を設立いたしました。

チャレンジングな研究を進められている皆様のご応募をお待ちしております。

募 集 要 項

対象分野： ライフサイエンス、マテリアルサイエンス、インフォメーションサイエンス分野およびその融合領域分野

応募資格： 日本の大学、研究所、企業に勤務し、科学・技術の発展に貢献している研究者

表彰内容： **本賞：賞牌およびトロフィー / 副賞：褒賞金 100万円**

応募要領： 自薦、他薦は問いません。所属、略歴、主な研究成果、推薦理由をPDF形式 A4版にまとめて選考委員会事務局まで電子メールに添付してご提出ください。
(選考委員会事務局：award@yamato-net.co.jp)

応募期間： **2017年8月1日～11月30日**

選考方法： 選考委員会にて、応募者の成果・功績を公正かつ厳正に判断し、1名を選定いたします。

選考委員会： 委員長： ヤマト科学株式会社 代表取締役社長
文部科学省 科学技術・学術審議会専門委員

森川 智

委 員： 東京大学 先端科学技術研究センター教授

児玉 龍彦 先生

委 員： 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長
東京大学 総長特別参与・教授
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議議員

橋本 和仁 先生

委 員： 東京大学 大学院情報理工学系研究科教授
東京大学 先端科学技術研究センター教授

廣瀬 通孝 先生

※所属および肩書は、2017年7月現在のものです。

受賞者決定： 2018年3月上旬に弊社ホームページにて発表いたします。
※授賞式は2018年4月、記念講演を2018年11月に行います。

前 回 の 受 賞 者



第4回(2017年)

理化学研究所 総合生命医科学研究センター 代謝・内分泌・腎疾患 チームリーダー

堀越 桃子 氏

受賞テーマ：『成人期の糖尿病、冠動脈疾患発症における誕生時の遺伝的差異の関与の発見と証明』

受賞理由：代謝疾患研究の国際的なプロジェクトにおいて生命科学と情報科学を融合させた研究を主導し、糖尿病をはじめとする代謝疾患や冠動脈疾患の発症機序の解明に貢献した。

※第1回～3回の受賞者は裏面をご参照ください。

ヤマト科学株式会社

Yamato Scientific Award

ヤマト科学賞 過去の受賞者

※受賞者の所属および肩書は受賞当時のものです。



第1回 (2014年)

東北大学金属材料研究所 助教 内田 健一 氏

『スピンゼーベック効果の発見と説明』

熱の流れ(熱流)により磁気の流れ(スピン流)が生成される新しい物理現象「スピンゼーベック効果」を発見し、現在世界中で研究されているスピン流熱物理の原点を創造した。



第2回 (2015年)

東京医科歯科大学 教授 石川 俊平 氏

『ゲノム病理学による難治疾患の発症メカニズム解明』

ゲノム病理学という新たな学問領域を提唱し、並列型次世代シーケンサーを用いたゲノム解析に病理学的知見を伴わせて、がんをはじめとする難治疾患の研究に貢献した。



第3回 (2016年)

東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 川原 圭博 氏

『ウェアラブル、ユビキタスコンピューティングを社会に展開するために必要なIoT基盤技術の開発』

IoT、ユビキタスコンピューティング分野においてセンサからシステムまでを垂直的に統合することで、スマート社会の実現に向けて非常に大きなイノベーションの可能性を拓いた。

SINCE 1889



科学技術の進歩・発展のために

ヤマト科学株式会社

本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1

ヤマト科学賞選考委員会事務局

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-6 HASEMANビル5F

TEL : 03-5639-7070 FAX : 03-5639-6031 E-mail : award@yamato-net.co.jp



www.yamato-net.co.jp